



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 松田産業株式会社

コード番号 7456 URL <http://www.matsuda-sangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松田 芳明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役IR部長

(氏名) 田代 芳孝

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-5381-0728

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	46,504	△0.6	2,182	45.5	2,226	49.3	1,358	51.9
23年3月期第1四半期	46,796	45.8	1,500	439.8	1,490	373.9	893	540.0

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,509百万円 (49.9%) 23年3月期第1四半期 1,007百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	48.32	—
23年3月期第1四半期	31.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	60,828	39,428	64.8
23年3月期	61,042	38,349	62.8

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 39,428百万円 23年3月期 38,349百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	93,000	2.6	3,700	29.2	3,800	32.6	2,300	35.0	82.03
通期	190,000	3.5	7,000	15.7	7,200	17.3	4,400	21.2	156.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	28,908,581 株	23年3月期	28,908,581 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	870,833 株	23年3月期	790,678 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	28,100,868 株	23年3月期1Q	28,118,300 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P3.「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
(4) 追加情報	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(5) セグメント情報	P. 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の被害からのサプライチェーンの立て直しの動きが見られたものの、電力供給の制約や原子力災害の影響により、投資・消費が落ち込むなど、厳しい状況が続きました。

このような状況の中で、当社グループは、貴金属関連事業および食品関連事業において、それぞれの顧客ニーズに対応した積極的な営業活動により損益の改善に努めてまいりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

貴金属関連事業

貴金属部門では、東北・関東地方を中心に主力顧客である半導体・電子部品業界の生産が落ち込み、当社の貴金属化成品や電子材料等の販売量は減少しました。一方、貴金属原材料回収は海外からの集荷を中心に回復基調となり、貴金属価格も上昇したことから、貴金属製品の売上高は高水準を維持しましたが、ボンディングワイヤ輸出の商流変更に伴う売上の減少から、貴金属部門では前年同期に比べ減収となりました。

環境部門では、震災による一時的な排出量の増加もあり取扱量が前年同期に比べ増加しました。また一部の排出物の中に含まれる銀の価格上昇が売上高を押上げることとなりました。

これらの結果、当該事業の売上高は 35,702百万円（前年同期比0.0%増）、営業利益 1,801百万円（同42.6%増）となりました。

食品関連事業

食品関連事業では、消費者の低価格志向が強まる一方で、世界的に食材が値上がり傾向となる厳しい事業環境が続く中、すりみなどの水産品は価格の不透明感による買い控え傾向や東北地方での練り製品の一時的な生産減の影響により、売上高は前年同期に比べ減少しました。鶏卵や鶏肉等の畜産品は数量増と単価アップにより売上高が増加し、農産品は外食向け販売の減少から売上高が微減となりました。

これらの結果、当該事業の売上高は10,819百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益381百万円（同60.8%増）となりました。

以上により、当第1四半期の連結業績は、売上高46,504百万円（前年同期比0.6%減）、営業利益2,182百万円（同45.5%増）、経常利益 2,226百万円（同49.3%増）、四半期純利益 1,358百万円（同51.9%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第1四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ213百万円減少し60,828百万円となりました。これは主として棚卸資産の増加を上回る現金及び預金・売上債権の減少によるものです。

(負債)

当第1四半期末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,292万円減少し21,400百万円となりました。これは主として仕入債務の減少と未払法人税等の支払いによるものです。

(純資産)

当第1四半期末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1,078百万円増加し39,428百万円となりました。これは主として当期の利益等による株主資本の増加によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、期中3ヵ月の営業活動により285百万円増加し、投資活動に195百万円使用し、財務活動により457百万円減少した結果、換算差額後の資金は前連結会計年度末に比べ329百万円減少し6,275百万円となりました。

（営業活動のキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における営業活動により増加した資金は285百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の増加とそれに伴う法人税等の支払額および棚卸資産の増加の差引によるものです。尚、前年同期の1,260百万円の減少に比べ1,545百万円増加しました。

（投資活動のキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における投資活動に使用した資金は195百万円となりました。これは主として工場設備の新設・更新等の有形固定資産取得によるものです。尚、前年同期の573百万円の支出に比べ377百万円減少しました。

（財務活動のキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における財務活動の結果減少した資金は457百万円となりました。これは主に配当金の支払と自己株式の買付けによるものです。尚、前年同期の1,560百万円の増加に比べ2,017百万円の減少となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期累計期間の連結業績を踏まえて、第2四半期（累計）および通期の業績予想を修正いたします。当該予想の詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,609	6,279
受取手形及び売掛金	19,947	19,424
商品及び製品	6,667	6,678
仕掛品	366	277
原材料及び貯蔵品	6,918	7,693
繰延税金資産	718	486
未収入金	2,597	2,606
その他	1,525	1,571
貸倒引当金	△95	△30
流動資産合計	45,256	44,988
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,377	5,400
減価償却累計額	△2,997	△3,069
建物及び構築物（純額）	2,380	2,330
機械装置及び運搬具	4,708	4,802
減価償却累計額	△3,740	△3,828
機械装置及び運搬具（純額）	968	973
土地	7,670	7,612
リース資産	363	370
減価償却累計額	△157	△173
リース資産（純額）	206	197
建設仮勘定	406	570
その他	599	616
減価償却累計額	△490	△504
その他（純額）	108	111
有形固定資産合計	11,742	11,796
無形固定資産		
その他	846	764
無形固定資産合計	846	764
投資その他の資産		
投資有価証券	1,851	1,999
繰延税金資産	284	218
その他	1,233	1,232
貸倒引当金	△170	△170
投資その他の資産合計	3,197	3,279
固定資産合計	15,786	15,840
資産合計	61,042	60,828

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,416	9,504
短期借入金	—	268
1年内返済予定の長期借入金	998	898
リース債務	78	78
未払法人税等	1,410	728
賞与引当金	604	370
未払金	2,556	2,577
その他	2,621	3,150
流動負債合計	18,686	17,575
固定負債		
長期借入金	3,128	2,953
リース債務	128	119
退職給付引当金	276	269
役員退職慰労引当金	453	462
その他	19	19
固定負債合計	4,006	3,824
負債合計	22,692	21,400
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	4,008	4,008
利益剰余金	31,884	32,905
自己株式	△782	△875
株主資本合計	38,670	39,597
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	102	98
繰延ヘッジ損益	△66	10
為替換算調整勘定	△356	△277
その他の包括利益累計額合計	△320	△168
純資産合計	38,349	39,428
負債純資産合計	61,042	60,828

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	46,796	46,504
売上原価	42,535	41,522
売上総利益	4,260	4,982
販売費及び一般管理費	2,760	2,799
営業利益	1,500	2,182
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	9	8
持分法による投資利益	97	148
仕入割引	14	8
受取家賃	1	15
受取保険金	0	—
その他	8	10
営業外収益合計	131	191
営業外費用		
支払利息	12	12
支払手数料	1	1
為替差損	126	109
賃貸収入原価	—	13
その他	0	10
営業外費用合計	140	147
経常利益	1,490	2,226
特別利益		
貸倒引当金戻入額	16	—
特別利益合計	16	—
特別損失		
固定資産除売却損	0	—
投資有価証券評価損	3	—
投資有価証券売却損	3	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37	—
特別損失合計	44	—
税金等調整前四半期純利益	1,462	2,226
法人税、住民税及び事業税	518	617
法人税等調整額	50	250
法人税等合計	568	868
少数株主損益調整前四半期純利益	893	1,358
四半期純利益	893	1,358

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	893	1,358
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26	△4
繰延ヘッジ損益	56	77
為替換算調整勘定	80	68
持分法適用会社に対する持分相当額	3	9
その他の包括利益合計	113	151
四半期包括利益	1,007	1,509
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,007	1,509
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,462	2,226
減価償却費及びその他の償却費	268	269
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△27	△64
賞与引当金の増減額(△は減少)	△277	△234
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△7	△6
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6	8
受取利息及び受取配当金	△9	△8
支払利息	12	12
持分法による投資損益(△は益)	△97	△148
投資有価証券売却損益(△は益)	3	—
投資有価証券評価損益(△は益)	3	—
固定資産除売却損益(△は益)	0	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37	—
売上債権の増減額(△は増加)	△2,319	532
未収入金の増減額(△は増加)	△459	△23
たな卸資産の増減額(△は増加)	△450	△650
仕入債務の増減額(△は減少)	354	△940
未払金の増減額(△は減少)	△58	4
その他	1,742	569
小計	185	1,546
利息及び配当金の受取額	9	8
利息の支払額	△11	△14
法人税等の支払額	△1,443	△1,254
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,260	285
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△574	△267
有形固定資産の売却による収入	—	68
無形固定資産の取得による支出	△4	△0
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	14	—
その他	△7	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△573	△195
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,000	268
長期借入金の返済による支出	△85	△274
自己株式の取得による支出	△0	△93
配当金の支払額	△337	△337
その他	△17	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,560	△457
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	38
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△260	△329
現金及び現金同等物の期首残高	4,103	6,605
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,842	6,275

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	35,685	11,111	46,796	—	46,796
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	14	15	△ 15	—
計	35,686	11,126	46,812	△ 15	46,796
セグメント利益	1,263	237	1,500	—	1,500

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	35,701	10,803	46,504	—	46,504
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	16	17	△ 17	—
計	35,702	10,819	46,521	△ 17	46,504
セグメント利益	1,801	381	2,182	—	2,182

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
該当事項はありません。